

令和3年度株式会社五霞まちづくり交流センター (道の駅「ごか」)の経営状況



令和3年4月1日から令和4年3月31日までの1年間の経営状況が公表されましたので、お知らせします。

道の駅「ごか」の利用者数（レジ通過者）は、約60万6千人で農産物直売所を含む総売上高は約7億6,705万円、交流センターとしての経常利益は約マイナス750万円になりました。長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、季節フェアやキャンペーン企画などを中心に年間26件のイベントを開催し集客に取り組みました。

地域食材供給施設

○農産物直売所「わだいわ菜」

茨城むつみ農業協同組合に経営を委託している農産物直売所は、毎日新鮮な地元産の野菜や米をはじめとして、果物・花卉・加工品等を取り扱っています。コロナ禍において、一時入場制限を行うなど、お客様が安心して利用いただけるよう対策を徹底し、五霞町産及び茨城県産品を取り入れ、魅力ある直売所への取り組みを実施しました。

○レストラン「華ごぶし」

コロナウイルス感染拡大の



○軽食コーナー

度に客足が左右される中ではありましたが、家族連れやドライバーの来店が多く、様々な地域食材を利用したメニューを提供いたしました。「ローズポーク」を使用したメニューや石臼挽き自家製粉の手打ちそば（五霞町産常陸秋そば使用）は、引き続きご好評いただいています。



○外フードコーナー

新たに期間限定商品として、五霞町産さつまいもを使用した焼き芋の販売を実施いたしました。また、「注文を受けてから作る出来立て持ち帰り弁当」や「本格石釜ピザ」もご好評いただきました。



情報施設・交流広場・その他

○情報施設

道の駅ごかホームページのリニューアルと同時に、コロナ禍でも来店せずに購入可能なお取り寄せサイトの充実をはかり、安心して五霞町の味をお楽しみいただけるような取り組みを実施しました。

イベントコーナー・広場では、感染予防を徹底しながら、茨城のお魚市や手焼きせんべいの実演販売、フリーマーケットなどの多彩なイベントに加え、五霞ふれあい祭りも開催し、賑わいを取り戻しています。